

私の 3 冊

橋田 竜騎

はしだ・りゅうき 医師 13 年目

久留米大学整形外科講座，久留米大学病院リハビリテーション部

普段は急性期のリハビリテーションを担当しています。運動器がメインですが，運動とがん予防，競輪選手のパフォーマンス向上，転倒予防などの研究をしています。今回は私が運動器リハビリテーションを学ぶうえで，診療で役に立った教科書をご紹介します。

後輩に薦める 2 冊



筋骨格系のキネシオロジー 原著第 3 版

Donald A. Neumann 原著 Paul D. Andrew, 有馬慶美, 日高正巳 翻訳
医歯薬出版 2018 年

運動器のリハビリテーションを基礎から学ぶために必要な 1 冊です。複雑な運動学的概念を，美しいイラストでわかりやすく紹介されています。本格的な筋骨格系に関する運動学専門書であり，これから運動器を学ぶ先生にはぜひ購入を薦めたい 1 冊です。



スポーツ傷害 予防と治療のための体幹モーターコントロール

金岡恒治 編著
中外医学社 2019 年

スポーツ障害予防や，治療時に重要な役割を果たす体幹モーターコントロール機能の向上を図るためのさまざまなエクササイズやトレーニングを EBM の観点から解説している 1 冊です。運動器リハビリテーションを行ううえで，必要な知識が学ぶことができます。私は患者さんのリハビリテーション計画を考えるとときに，筋骨格系のキネシオロジーと合わせて読んでいます。

自分の 1 冊



リハビリテーションの歩み—その源流とこれから

上田 敏 著
医学書院 2013 年

久留米大学の先輩に良書だからと教えていただいた 1 冊です。わが国における「リハビリテーション医学」という新しい医学が誕生したところから現代に至るまでの，歴史的な変化をわかりやすく書いてある本です。アメリカのリハビリテーションとの違いなども記しており，国によってリハビリテーションの発展の仕方が異なることが学ぶことができ，とても勉強になりました。リハビリテーション医は知っておいて損はない 1 冊だと思います。リハビリテーションとは何かということをあらためて勉強させていただいた本です。